

[優 秀 賞] 次世代歯列矯正器具「超小型ブラケット」



代表取締役社長
西重 保氏

キリシマ精工株式会社

〒899-4303 鹿児島県霧島市国分川原918-7

TEL. 0995 (73) 4311

<http://www.kirishima-seiko.jp/>

「超小型ブラケット」は、歯科矯正治療時に歯の裏側に取り付ける次世代型の歯列矯正器具。キリシマ精工の独自技術「カーブカット工法」という金属切削加工を用いて製造することで、従来の歯科矯正器具にない大きさや形状、性能を実現した。治療を受ける側も、歯科医師にとっても多くのメリットを享受できる。

超小型ブラケットは一つひとつの器具が小型のため、前方からほとんど見えない。矯正のためのゴムを取り付ける突起部やワイヤを通す溝はラウンド形状に加工している。器具表面は滑らかに研磨している。患者にとっては、舌が触れる際の摩擦が少なく口内炎などになりにくい。装着時の違和感や負担が軽減できて、滑舌への影響が少ない。食べ物の残りかすも少ない。一方、歯科医師にとっては、矯正のトルクがダイレクトに歯に伝わり、ブラケット自体の離脱も少ないので効率よく歯科矯正を行える。

構成するパーツは、硬化樹脂を使って直接歯に装着し矯正ワイヤを挿入する本体と患者の違和感を軽減するラウンド形状に加工したフタ、本体とフタを接合するピンとで構成されている。それぞれが微細な部品だが、カーブカット加工により無垢の素材から一体成型する。このためバリや、ずれなどを生じることなく高精度な加工を可能とした。

ブラケットは、前歯用と奥歯用の2種類。患者の歯の特徴や状態に応じた複数の形状もサポートする。

